

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・職員を育てる取り組み 職員間でも経験年数の違いなどで、技術面など個々の差がみられる。又4月には、高校生の新卒者4名を初めて迎えるため、その教育にも不安がある。	新卒職員が入社するため、業務内容はもちろん社会人としての教育をし、介護士として成長して欲しい 又、現職員も不得意な部分の成長を望む。	新入職員に対しては、チューター制を取り入れ一人ひとりを基礎より教育し全業務を早く身につけていくとともにチューターもこれを機会にさらなる能力開発を期待したり、又法人外の研修も全職員にPRし、可能な限り研修してもらう。	12ヶ月
2	21	・利用者同士の関係の支援 平均年齢90歳を超え、それぞれの体力が落ちてきているため、利用者同士の関わり合い、支え合いが希薄になってきている。	利用者のレベルも年々下がり、利用者同士の関係も薄くなってきている中、深い絆を目標にして、楽しい生活を送って欲しい。	レクリエーションなどで、フロアで集まる際は職員が積極的に利用者の中に入り、利用者のパイプ役になれる様努力する。洗濯物を一緒にたたんだりして家事もできる事は、参加して頂き利用者同士の交流をはかる。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。